



お菊の堤(飯島町)

2003年10月29日(水)

# 自律新聞

第6号

飯島町・中川村・宮田村の自律を考える

## ★自律をめざす町村長の名言集6★

「昭和40年代、私どもの村でも国有林を切って、杉を植え  
ていきました。(中略)40年代に全国一律でやった結果が山を  
こんなに悲惨な姿にしてみました。(中略)リゾート法もそうで  
す。全国一律に、『スキー場とゴルフ場をやれば山村は生き残  
れる』と言ったのですが、それが生き残れなかった。全国一律  
の施策はもう終わっていないのではないですか。」

岐阜県白川村長 谷口 尚さん※注1

## 【わが町・わが村レポート6】飯島町民が語る自律への思い—町民インタビューから

飯島町では10月15日から11月5日まで、町内の各地で合併問題に関する住民説明会が開かれています。現在は「自律の場合」と「仮に合併した場合」の資料を、私たち町民に提示している段階であり、もちろん「合併」が決定しているわけではありません。今回は、飯島町民の皆さんに自律についての思いを語っていただきました。



毎日のように新聞紙上などで「市町村合併」の問題が取り上げられているが、時が経つにつれて、賛成より反対の意向が高まりつつあるように感じるし、また、山間僻地に類するような町村で、合併せずにやって行こうというところが増えてきた事にも注目すべきだと思う。

わが町としても、町財政の現状をもっと分かりやすく町民に提示し、行政の仕組みや、財政支出の改革の徹底を計り、できれば合併せずに、行政と町民が一体となって、苦境を乗り切るような姿勢でありたいと思う。

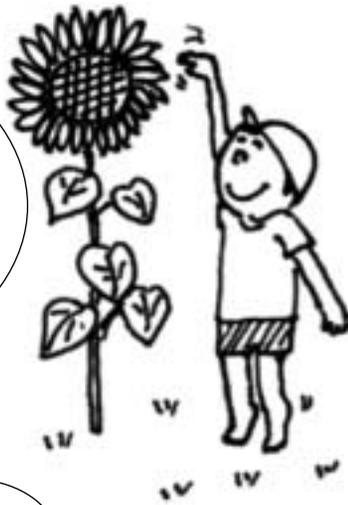
【田切地区・70代・男性】

隣近所での付き合いが大切だと感じているが、地域が広がると、ますます一体感が無くなるのではないか。福祉の事を第一に大切に考えてもらいたい。また、行政は、もっと具体的な自律の情報を町民に示してほしい。

【七久保地区・30代・男性】

子育て中で家にいる事が多いのですが、自律新聞の情報はわかりやすく、助かっています。合併して大きな規模になると、人のつながりが不安です。

【本郷地区・30代・女性】



主婦層は関心の薄い人が多く、「どうせ議会で誰かが決めてしまう」と言う勘違いをしている人がたくさんいると思います。一人一人が様々な立場で十分に考え、「Yes」か「No」かの声を、はっきり出すべきだと思う。飯島町でおきた住民投票をめぐる状況を考えてみると、このまま合併しても大丈夫なのだろうか、不安でいっぱいになる。

【飯島地区・30代・女性】

子供・孫と長い世代にわたって影響する問題なので、私達が責任を持って考えなければならないと思う。

【本郷地区・30代・男性】

耕地説明会に出てみて、資料や説明では自律が困難な印象を受けるが、決してそんな事は無く、自律も決して無理ではないと考えている。参加者の中にも、自律を望む発言があった。合併ありきではなく、幅広く議論し、意向調査の結果通りに決定される事を望みます。

【飯島地区・30代・男性】



町民一人一人が合併問題に関心を持ち、町政に参加する気持ちを持たなければ、元気のある地域にならない。行政側も町民の新しい声を聞き、一緒にこの地域を作っていく姿勢がほしい。合併問題の納得できる決め方は、『住民投票』しかない。納得出来ない決め方だと、私は次の地域作りのエネルギーが生まれてきません。

【飯島地区・50代・男性】



【裏面にも続きがあります】

行政改革は必要だと思うが、無駄な部分をなくして、大切な所、例えば福祉の面でなくならないようにしてほしい。

【本郷地区・60代・女性】

この不況の折、正規の職員は良いかもしれませんが、合併すると臨時職員の皆さんは職がなくなるのでは?と大変心配しています。

【飯島地区・30代・女性】

耕地説明会では、「もう合併するしかない」という話に聞こえた。役場から、形だけ説明に来ているという感じがした。

【七久保地区・40代・女性】



合併には反対。小さな所の方が、きめ細やかなサービスしてくれる。学校も30人学級にしようとしているのに、合併は逆の方向。共同作業所も20人位の規模が、一人一人に目が行き届き一番良いとの事。お金の事だけで合併するのは、お金がないから結婚するのと同じ。行政のトップが、今大変でも我慢してビジョンを示し、発想の転換をして、町にお金が入る方法や雇用方法を考え、町づくりをして行くのが大切。合併しても、16年後には、また同じ問題にぶつかる。

【七久保地区・40代・女性】

議員さんへの質問状の回答を読みましたが、合併問題について、はっきり答えていないと思います。町を引っ張っていくリーダーとして、しっかり理念をもってほしい。そして、どうしたら飯島町が素晴らしい未来に向かっていけるのか、ちゃんと示して欲しい。

【飯島地区・60代・女性】

「これからの飯島町」の資料からは、具体的な事がわからず、不安です。合併して、そのうち効率化などという理由で、小学校が統廃合されるようなことにならないか心配です。子どもが歩いて通える距離に学校や公共施設があってほしいと思います。

【七久保地区・30代・女性】



地域の主人公は住民だと思います。行政も議会も、住民の声をしっかり聞いて欲しいと思います。

【七久保地区・40代・男性】

私たち町民の声が今回の合併問題に、どのように反映されるのか?・・・と最近、話題になります。説明会でも「聞いておきます」と回答されるだけ。出された貴重な意見の行き先が見えないのは、すごくおかしいことです。議会にもこの声は届けられるのでしょうか。説明会で出された住民の意見は、きちんとまとめられて、配布されるのでしょうか。知りたいものです。

【飯島地区・30代・女性】

【注】1=自治体問題研究所(編)『ここに自治の灯をもして一小さくても輝く自治体フォーラム報告集』108頁、自治体研究社、2003年。

★お問い合わせ★

『市町村合併よりも自律の町村づくり』刊行委員会(〒399-4399 宮田郵便局私書箱1号)  
・宮田事務局: 天野早人(0000-00000-00000)  
・中川事務局: 湯沢賢一(0000-00000-00000)  
・飯島事務局: 松村まゆみ(0000-00000-00000)  
・FAX: (00000-00-00000)

★賛助金のお願いについて★

本紙は飯島町・中川村・宮田村の住民有志で発行しており、その趣旨にご賛同いただいた皆さまからの賛助金で支えられています。本会の研究活動と情報発信へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

八十二銀行 宮田支店 普通 156085  
市町村合併よりも自立の村づくり刊行委員会

★次号の予告★

第7号(通常版)は明後日10月31日(金)に発行します。  
・意向調査の結果の取り扱いについて(担当:宮田事務局)  
・中川村が合併したら一任意合併協議会の資料を読む③(担当:中川事務局)